

# 図画工作科研究部

## 1 研究主題と研究の方向性

横浜市小学校図画工作教育研究会 学習指導研究部 研究主題

感性豊かに生きる力をはぐくむ図画工作科学習の創造

～感じる つくる 考える 子どもの姿を求めて～

### 部会テーマ

低学年部	思いのままに つくることを楽しむ子どもの姿を目指して
中学年部	工夫して つくることを楽しむ子どもの姿を目指して
高学年部	効果的に つくることを楽しむ子どもの姿を目指して

### 研究内容

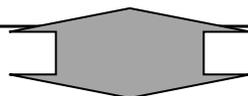
1. 「学習の方向性」を基に育成を目指す資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメント
2. 「主体的・対話的で深い学び」の視点を入れた授業改善における子どもの変容

今年度の研究内容は、1. 「学習の方向性」と〔共通事項〕を基にしたカリキュラム・マネジメント。2. 子どもが主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりの2つの研究内容をもとに研究を進めていきます。

1については、目の前の子どもの実態に合わせて、何をよりどころに、どのような考えを大切にして題材設定、授業実践、カリキュラム・マネジメントをしていったらよいか、ということの研究をしていきます。「学習の方向性」とは、横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領図画工作、美術科編で、『造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」』として示されている言葉で、これまで「学習の主題」として定着してきた考え方です。教師にとっては、指導内容や支援の方向性を示すとともに、題材を設定する根拠となるものです。「学習の方向性」を根拠に題材を設定することで、題材で指導すべき内容や、育成する資質・能力を明確にすることができます。

〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の活動の中で、共通に必要な資質・能力です。〔共通事項〕を大切にすることで、「形や色などの造形的な特徴を理解したり、イメージをもったりする資質・能力」を育成し、造形的な視点を、豊かに授業づくりをすることができます。

2については、図画工作科で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図り、研究を進めていくという研究の方向性を示しています。児童が学習の見通しを立てたりふりかえったりして自身の学びや変容を自覚し主体的に学習に取り組んだり、対話によって自分の考えを広げたり深めたりしながら、造形的な見方・考え方を働かせる中で、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を育成していきます。児童の資質・能力の視点を大切に、育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、児童の発揮している資質・能力を的確にとらえ、授業づくりに生かしていきます。



### 研究内容具現化のベース

○出あいの工夫 魅力的な出あい（題材、材料、表現方法、人など）を設定すること。	○場の設定の工夫 子どもの資質・能力を引き出す効果的な場（学習環境）の設定をすること。	○共感的支援の工夫 対話や相互鑑賞などによる共感的支援（評価基準の設定）をすること。
○小中一貫の視点 9年間の連続した学習活動の流れを意識して指導の工夫（カリキュラムマネジメント）をすること。		

## 2 年間活動報告

### 夏季実技研修部

○第72回夏季実技研修「造形・美術体験ワークショップ」企画・運営・・・開催中止

### 児童作品展部

○横浜市図画工作児童作品展 企画・運営

・期日 令和3年1月27日(水)～1月31日(日)

※搬入：1月26日(火) 搬出：1月31日(日)

・会場 横浜市民ギャラリー

## 3 研究の成果と課題

	低学年部会	中学年部会	高学年部会
4月22日	総会(研究方針説明)		
	<b>開催中止</b>		
5月13日	組織編成、研究内容確認(部会別)、授業目次決定		
6月3日	部会研修会(学習指導要領に基づく部会の研究内容についての共有) →紙面(HP上)にて総会を開催		
7月1日	実践提案①(各部会提案者1名) →今年度の研究について《研究局》、市作品展について《作品展部》		
9月9日	実践提案②(各部会提案者1名) →研修会《研究局》		
10月7日	市一斉授業研究会指導案検討① →実践提案《研究局 部会リーダー》		
11月4日	市一斉授業研究会指導案検討②、第二次教育研究大会発表内容検討① →実践提案(低・中・高)		
12月2日	第二次教育研究大会に向けての部会検討①		
1月13日	第二次教育研究大会に向けての部会検討② →開催中止(HP上に提案内容を掲載)		
2月10日	<b>第二次教育研究大会→紙面開催(HP上)</b>		
	提案者 神奈川区 西寺尾小学校 笠本 健太 先生	提案者 泉区 阿久和小学校 高木 圭 先生	提案者 金沢区 並木第一小学校 落合 陽香 先生
3月3日	総会(研究のまとめ)→紙面開催(HP上)		

研究内容1 「学習の方向性」と〔共通事項〕を基に、育むべき資質・能力をとらえ、一つ一つの題材を地域や他教科との関連を考え、カリキュラム・マネジメントしていくことの大切さを実践提案や、一斉研を通して考えることができた。また、今年度は再度、低・中・高学年部会に分かれ、発達段階を踏まえ、育むべき資質・能力の明確にした題材設定を検討してきたが、来年度の新学習指導要領実施に向けて、さらにしっかりと研究を深めていく必要がある。

研究内容2 子どもが主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについては、子どもが「主体的に学ぶ」姿や「対話的に学ぶ」姿を、子どもの具体の姿から捉え、指導と評価の効果を考えることができた。また、子どもが発揮している資質・能力の視点で主体的・協働的に学ぶ子どもの姿をみとることができ、理解を深めることができた。

来年度から、新しい学習指導要領完全実施となるので、研究主題、部会テーマや研究内容を見直し、改善していきたい。また、横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領の内容を研究に取り入れていくようにする。その際、これまでに横浜市小学校図画工作教育研究会が積み重ねてきた研究の成果を活かして改善できるようにする。